



第一回べっぴんしゃん交流・講習会 6月7日

べっぴんしゃん

委員会・講習会

2015

NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう

活動報告・議事録

第1回べっぴんしゃん委員会・講習会

日時 2015年6月7日 10時～16時

会場 旧与島中学校校舎

開校式 開催の挨拶

開会のあいさつでは訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡から会場に坂出市教育委員会から無償で借り受けたことや、講習会の目的や今後の日程の紹介があった。又来賓の与島自治会長からは、皆様の活動は離島の者は喜んでいきますこれからの活躍を期待しています。と挨拶があり日本理美容福祉協会教育部長下田さんからは、高齢社会の日本の福祉理美容師の必要性の説明があった。

講習会（講師：池澤良子）

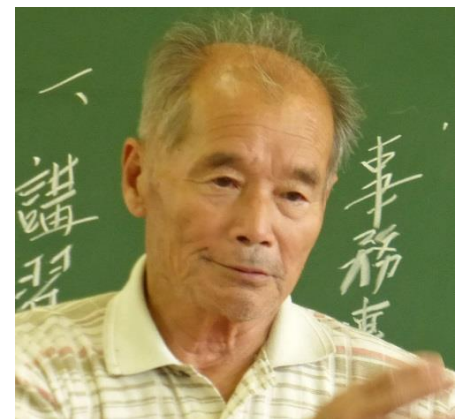
自己紹介や相互紹介の後、瀬戸内海離島の訪問理美容を行う事がいかに大切な事か今後の運営についてファシリテーション議会方法から、皆の意見や地域課題を提案しつつ、地域での目指すもの、自分達のしたいものを

協議した後、地域での具体的な活動目標まで論議した。

委員会等議事録

参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、講師 池澤良子、日本理美容福祉協会 教育部長 下田清、香川県参加美容師 今井理絵子、三野留美、河田里規子、高木みどり、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、入間まりえ、丸山司計 10 名

委員会では事務局の紹介や、両県参観者からは、講習会を受けて地域で自分達の志す訪問理美容の在り方、地域での課題等が協議され今回の講習会が意義深いものである事と今後の持続を望む声があった。



与島自治会長あいさつ 住谷さん



委員会・講習会参加記念撮影

第2回べっぴんしゃん

委員会・講習会

車いすでの着付け

日時 7月5日10時～16時

会場 旧与島中学校校舎

(講師：藤原扶美子)

講師から車いすの方が結婚式にウエディングや花嫁衣装を着たいと言われた時に私は出来ませんと断るのか、分かりましたと引き受けるかは福祉を志す美容師として大切な分岐点です。と話があった。着物の着付けは、健常者では考えられないような身体の負担のある人に、着つけていくので身体の負担を軽くする為に障害部分に手を添えながら、更に身体に着物を着せるのではなく車いすに着物を置いて座って貰うという考え方です。と講師は分かりやすく説明をしながら受講生をモデルにして着つけていきました。

委員会議事

参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、日本理美容福祉協会 教育部長 下田清、香川県参加美容師、他今井理絵子、三野留美、河田里規子、高木みどり、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、入間まりえ、丸山司。計10名

委員会では講習を踏まえてアンケートを受け取り意見を交換しました。アンケートには身体障害者に寄り添うことは、負担のある部に手を添えて余分な負担を掛けない事や講師は色々工夫をしながらしている事が勉強になりました。又着付けも利用者の方と共



有しながら進めている事が勉強になりました。



車いすでの着付けの講習会では自由な発想で着付けが出来ることはとても驚きでした。今回の講習会で自信がつかしました。今後についても講習会の受講を大事にして一人でも多くの美容師の活動家が集う事が大切と考えました。

今回の講習会ではたくさんの事に気が付きました。

1. 相手の立場に立って美容を考えていく事の大切さや
2. やり方を研究して相手に負担を掛けない知恵の必要性や
3. 自由な発想で作りに上げていく事で利用者の信頼関係も生まれる

第3回べっぴんしゃん 委員会・講習会

車いすでのカット

日時 8月2日 10時～16時

会場 旧与島中学校校舎

(講師：前田三生)

車いすでのカットは、訪問理美容活動の中で最も重要な部分で利用者の身体障害者や介護者などに負担を掛けずに、より高度な技術で綺麗に仕上げていくと所にあります。今回は講習会ですのでウィッグを使用している講習会ですが実際は老人ホームの車いすで声を出したり暴れたりする人など多く居ます。と講師から話があったから実際に普段のカット技術とどのように内容が違うかを比べてみました。今回のカットは早く切る為に一方向からのカットをと具体的に講習は進みました。

委員会議事

本日の参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、香川県参加美容師、他今井理絵子、三野留美、河田里規子、高木みどり、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、入間まりえ、丸山司。計10名

今回の講習について一回では覚えきれないので次回も是非お願いしたいと要請があった。



高齢者や身体障害者などに対する身体への負担軽減の要点は施術時間の軽減にあります。このような勉強会はあまりとられていないので、委員会か

らは人材育成為に今後の持続が望む声があった。また開催地域が遠距離であると利用者からの便利が悪いので出来れば各県単位の開催は出来ないかとの要請もあったが今後の運営については地域で検討する事とした。

1. 講習会の継続の検討
2. 開催地域単位の検討

第4回べっぴんしゃん 委員会・講習会 エンジェルメイク

日時 9月6日10時～16時

会場 旧与島中学校校舎

(講師：中森創子)

講師の中森創子さんはJMA日本メイクアップ技術認定協会一級認定講師で、映画の「おくりびと」の指導をされたそうです。ご自身は福祉美容を志すきっかけは、亡くなった母が病院の死体安置室にお線香と使いまわしの口紅を付けただけ姿に愕然としました。これではお別れが出来ないと、自身も深く落ち込んで、生きていた時のような姿でもう一度お別れをしないと前に進めないと、鳥取大学大学院医学系研究科看護分野修士課程を卒業した後福祉美容師の道に入ったそうです。

エンジェルメイクの基本、メンタルな部分としては親族がしっかりと故人とお別れをする事の大切な儀式である事と、技術的な内容は亡くなった方は体温が無いので油分やの使用にと講義。

委員会議事

本日の参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、香川県参加美容師、他三野留美、高木みどり、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、入間まりえ、丸山司。計8名



エンジェルメイクは初めての学習の方が多く、訪問理美容活動では必要性がないのではないかという意見もあった。実際髪をカットすれば現場での要請には答えられるので必要性は無いのではないか。そのような場面には遭遇しないとの意見であった。講師の中森先生や日本福祉理美容福祉協会協会の下田先生からは、自治会

長が講習会開校式にあいさつで自身の母親が亡くなった時に美容師さんにメイクをして頂いて大変うれしかったと挨拶が在ったことを通して、必ずしも不要な講習ではないし、近年このようなメイクを専門家が新しいジャンルとして学習している事や資格認定など進んでいる事を紹介した。

1.講習会科目検討案

第5回べっぴんしゃん

委員会・講習会

ファシリテーション講習

「個人の活動とチームの活動を考える」

日時 10月4日10時～16時

会場 旧与島中学校校舎

(講師：池澤良子)

訪問理美容は瀬戸内海の離島では大変に喜ばれています。特に高齢者は交通機関の船に乗って隣の町まで行くと一日数便しかない時間の限られている船では時間に間に合わせるために体力的にも精神的にも負担になってきます。中山間過疎地域でも同じことですが最近老人福祉施設や自宅に訪問理美容をする理美容師さんが増えています。そこで今日は個人で活動する内容と協力してする内容の違いと気づきについて講習したい。参加者が2人ペアになってお互いのしたいことや出来ることを書き出してみました。そこから何が見えてくるのか？

委員会議事

本日の参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、香川県参加美容師、高木みどり、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、丸山司。計6名



本日の参加者高木さんからは自身の店をオープンする為に頑張っている今回の学習で訪問理美容も併用して運営したいと考えているので大変に参考になった。又岡山の丸山さんからは今回勉強した事を参考に今岡山で NPO を設立しようとしている。現在年間 600 人の訪問理美容を行っているが、個人の限界も感じてはいるが、具体的な対応を検討していたのでよかった。と感想がそれぞれからあった。岡山では中山間過疎地域や離島への訪

問理美容の県条例が整っていないのでこれから訪問理美容の仲間が連携していく必要がと考えている。今後の活動に法律や県条例も学習する事を地域で検討したい。



1. 美容室のオープンに伴う訪問理美容事業の併用を実施
2. NPO 設立と法律や県条例の学習の必要性を検討
3. 市町村との包括支援事業への協働を提案したらどうか

第6回べっぴんしゃん 委員会・講習会

寝たきりの方の理美容対応技術

日時 11月15日10時～16

会場 旧与島中学校校舎

(講師：下田 清)

講師からは、基本的な内容として介護を受ける側になって施術していく体験学習の為に車いすでの移動や、ベッドでの移乗などの介護技術や寝返り、起き上がり、座位、立ち上がり等を体験し美容施術の講習があった。又高齢者の人口は益々増加し需要が高まると同時にクオリティが高くなっていくので、要求にどこまで対応できるかは、ふくし美容師としての学習が必要となる。ベッドでのシャンプーについて学習しこの応用として毛染めやパーマが寝たきりの人にも可能となって来ることを学んだ。今後現場で対応が難しい事はあきらめずに研究すればそれが新しい技術を生むこととなるので是非研究してほしいと激励があった。



委員会議事

本日の参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、香川県参加美容師、他今井理絵子、三野留美、河田里規子、高木みどり、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、入間まりえ、丸山司。計10名



多くの受講生から講習会は大変参考になったと評価が高かった。

又美容師は元来美容室での接客が主体で訪問して美容を行う事は近年希なことだ。今回はこのような学習を通して多くの現場の知識を学んだので、これから生かしていきたいと感想があった。

今後、老人福祉施設や病院への介護居行かれる方からは、女性の入所者の為に美容師さんに来て頂きたいと要請があった話を受けて、



訪問理美容の業務の中に美容師の得意とする毛染めやパーマを実施する内容をこれからのPR活動に盛り込むようにしたいと話があった。

- 1.クオリティの高い要望に応える訪問理美容の学習会の持続
- 2.地域で広めていく為の人材育成等今後の検討議案となった

第7回べっぴんしゃん 委員会・講習会

在宅訪問理美容を学ぶ 終了式

日時 12月6日10時～16時

会場 旧与島中学校校舎

開校式 開催の挨拶

午前中は日本理美容福祉協会教育部長 下田先生の高齢社会と福祉美容の講習会の実施。午後からは在宅訪問理美容についての実践学を 藤原美美子先生から講習があった。藤原先生からは訪問理美容に関する、受付時の情報管理から訪問時における注意点があった。訪問マニュアルを紹介して細かく衛生管理や顧客管理など自ら工夫した管理手帳を紹介して注意点を説明。在宅訪問理美容には技術的なノウハウとメンタルなノウハウを身に着けなければならない等、又これから必要とされる活動には自分たちで、現場にあった道具を作り上げなければならないと、工夫した備品をたのしく紹介した。

講習の終了後は日本理美容福祉協会の教育部長から今回の講習



会の別途作成した修了証書を各人に授与した

講習会（講師）

本日の参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、樋之津秀逸、入間まりえ。計5名



委員会議事

べっぴんしゃん委員会・講習会は今回で終了となりました。本日の参加した受講生、べっぴんしゃん委員会のメンバーからは、今回学んだ技術や精神を、より多くの理美容師も学んで地域で多くの方に喜んでもらいたいと挨拶があった。

主催者NPO法人訪問理美容ネットワークゆうゆう代表西岡からは今回の講習会は瀬戸内海の離島で暮らす高齢者や地域の方の為に、人材を育成したいとの思いで開催されたことや、助成頂いた日本財団を紹介して、これから地域の人材育成のリーダーになって頂きたいと挨拶があった。終了後記念撮影をして、今講習会を修了した。

報告事項：検討中の訪問理美容賠償保険が三井住友海上と提携出来るようになり団体契約を結ぶ。



第8回べっぴんしゃん

委員会・講習会

離島訪問理美容

訪問理美容実習

日時 9月4日10時～16時

会場 岡山県笠岡市高島

(講師：西岡 貢)

訪問理美容が実際行われている瀬戸内海の離島、高島（人口60人）に現場実習に出かけた。島では訪問理美容の案内と受付をして頂いている民宿カーサタケダをしている竹田さんと中村さんは、訪問理美容が行われる日には船の待合所で美容の施術場所を開けて待ってくれる。今日は高島のスタッフの娘さんがお母さんについて来た。興味があるらしい。今回は現場を受講生に見ていただいて、運営の手順や島の人達の対応や美容機材の整わない中でのパーマや毛染めを体験していただいて講習会に生かして頂ければと準備した。



委員会議事



本日の参加者 NPO 法人訪問理美容ネットワークゆうゆう
代表西岡、岡山県美容師 田川みどり、樋之津美穂子、
入間まりえ、丸山司。計5名

べっぴんしゃん委員会は

「美容技術で社会貢献したい！」と訪問理美容講習会を開催してきました。お会いした高齢者の方々は高齢になっても生まれ育ったこの里で暮らしたいと言います。地域で訪問理美容の実施については地域の協力が必要な訪問理美容活動は今後も地域で拡大し持続する為に以下の内容を確認しました。

1. 持続的な地域活動の為に仲間づくり
2. 訪問理美容を行う人材・地域リーダーの育成
3. 離島・中山間過疎地域での交流活動の推進

大変にありがとうございましたこれからも頑張ってください。